

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

9月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「サフランモドキ ヒガンバナ科」

花は大きく径6cm前後。薬用として用いられたサフランと誤認されていたため「モドキ」と付いた。



「ニガクサ シソ科」

野山の湿った水辺に生える多年草。花卉の上唇は2つに深く裂けており、なおおとつごく小さい。



「アメリカタカサブロウ キク科」

葉の付け根から柄をだし、舌状花と筒状花からなる花をつける。和名の由来は諸説ある。



「ウリクサ アゼナ科」

道端や畑などに普通に見られる。茎は地を這うように広がる。上部の葉の付け根から花をつける。



☆「コマツヨイグサ アカバナ科」☆

北アメリカ原産の2年草。茎は地面を這うか斜めに立つ。花はしぼむと黄赤色に変わる。



「センニンソウ キンポウゲ科」

木質のつる性植物。3～7枚の小葉からなる羽状複葉をもつ。葉の腋から白い花を多数つける。



☆「ヌスビトハギ マメ科」☆

和名の由来は、豆果の形が足音を立てないように歩く泥棒の足跡に似ていることから。



「ハマゴウ シソ科」

果実は球形。良い香りがするため浜香(ハマコウ)と呼ばれたが、転訛しハマゴウとなった説がある。



☆「オガタマノキ モクレン科」☆

果実はブドウのように房状に集まる。神社によく植栽される。ミカドアゲハの食樹として知られる。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

ようこそ！宇久井ビジターセンターへ！朝夕は涼しくなりました。秋の訪れが園地の植物からも感じられますよ！ぜひ散策をお楽しみください～

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026年9月前半号

宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



フェリーターミナル方面
通行できません

千尋の浜

(上地の浜)

メジロ
キシバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

外の取



至 R42

マルバウツギ

上野展望台

防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブツバキ

ヒサカキ

モチノキ

ヤマモモ

ハゼノキ

(メジロがよく食べに来ます)

シロダモ

竹林

周囲ルート

沢

シロダモ

ホルトノキ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

シロダモ

松尾展望広場



赤灯台



タイミンチバナ

スタジイ

クスノキ

アオノクマタケラン

ヒサカキ

カラスザンショウ

カノコノキ

ヤブニッケイ

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチツツジ

モチツツジ

モチツツジ

モチツツジ

灯台まであと4分



水壺の跡

タフノキ

木のすき間から浜が見えます。

地玉(じこく)の浜



凡例

- P 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段

駒ヶ崎灯台